

国立市富士見台2-47-1 国立市役所南部地域まちづくり課内 TEL 042-576-2111 (内 345・346)

「農地を活かし、地域を育てゆく」を合言葉に、地域の農業振興に取り組みます。

稲作体験学習会(田植え)を実施しました



6月25日(月)古民家前の体験水田で、市内8校の小学五年生546名による田植えが行われました。

梅雨明けを思わせる真夏のような天気の中、元気に実施しました。

オープニングセレモニーの後、注意事項を聴いて、第三小学校を先頭に順次、田んぼに入りました。まず、第一声は「キャーッ」「ぬるぬる」「意外と気持ちいい」など田んぼの感じ方は様々です。一步一步慎重に足を進めながら、横一列になると、指導者の方から苗の植え方を教わり、いよいよ田植えの始まりです。一列、二列、三列を植えてゆくに連れて段々と上手になっていきました。中には、田んぼの土に足を捕られて、尻もちをついたり、田んぼに座り込んだり、隣の子に水(泥)飛沫を浴びせたりと大変にぎやかな田植えでした。そういう中で、予定通り11時半過ぎには、全員田植えを終えることができました。次は実りの秋の稲刈りです。

ご協力いただいたJA東京みどり関係者の皆さま、支部長の皆さま、本当にありがとうございました。

稲作体験学習会拡充プラン ゲストスピーカー派遣



国立第三小学校での授業風景

市内小学5年生の皆さんに、種まきから始まり、苗取り、田植え、稲刈り、脱穀、精米と、お米ができるまでの稲作の工程を説明しました。また、稲作やくにたち野菜についてクイズを交えて楽しくお話をしました。実際にお米を作っている委員は、もみと玄米とお米と糠を見せながら、「これはどの過程でできる物でしょうか？」等と問いかけ、児童の回答に答えながら具体的なお米の精米過程を説明し、皆さん興味津々でした。

第59回東京都農業委員会・農業者大会開催



第57回企業的農業経営顕彰記念
於 瑞穂町スカイホール
平成30年2月22日

みぞれ混じりの冷たい雨の降る2月22日、東京都知事の小池百合子氏を迎え、東京都農業者大会が瑞穂町スカイホールで開催されました。

東京農業の確立、都市農業の振興と農地保全に関する要望、農業委員会活動の積極的推進に関する決議などが採択されました。小池都知事からも、2020年のオリンピック・パラリンピックの食材に、東京の農産物を積極的に使うという言葉も頂きました。

東京の農地は食の安全・ヒートアイランドの抑制・災害時の避難場所等にも役立っております。私たち農業委員も、地域の宝である農地が、国立からなくならないように、より一層皆で努力をして参りたいと思います。



第44回農業委員会等功労者表彰記念
於 瑞穂町スカイホール
平成30年2月22日



同時に執り行われた各表彰式では2名の方が表彰されました。(写真右)

企業的農業経営顕彰 野菜部門 さえき わたる 佐伯 渡さん(左)

農業功労者感謝状 さえき ようこ 佐伯 容子さん(右)

北多摩地区農業委員会連合会優秀農業経営者表彰



平成29年度北多摩地区農業委員会連合会
優秀農業経営者表彰式
於 立川市女性総合センターアイムホール
平成30年2月2日

平成29年度の北多摩地区農業委員会優秀経営者表彰は佐伯幸緒さんが受賞されました。

「安心・安全・顔の見える生産物の育成に努め、みなさまに新鮮な野菜をお届けしたいと思います。」
(佐伯さん：写真 後列右)

受賞者の皆さま、
おめでとうございます。



城山さとのいえより

城山さとのいえは、にぎやかに3回目の夏を迎えました。

通年事業の「春夏野菜づくり体験」や、「地元のおかあさんに聞こう 青梅収穫&梅干作り体験」「夏野菜の収穫体験」など季節の事業が回を重ねるごとにお申込み者を増やし、講師をお引き受けいただく田中賢治さんや杉田伸子さん、三田廣さんといった農家の皆さんもスタッフも喜んでます。初参加のかたはもちろん、「前回とても楽しかったので、また参加したい」とリピーターになってくださるかた、お友達やご家族を誘ってくださるかたの存在が、主催する側の大きなやりがいにつながります。さらに、体験事業を通し、市民の皆さん同士が年代の垣根を越えて新しく知り合う場となっていることも、城山さとのいえの自慢です。

くにたち野菜の魅力を再発見していただく「くにたち野菜料理講座」シリーズも好評です。本年度は新企画「ハーブ料理体験」を実施しました。杉田重明さんのルッコラなどを紹介したところ「日常的に、もっと利用したくなった」とのお声をたくさん聞くことが出来ました。

9月からは「秋冬野菜づくり体験」がスタートします。また、ナスやサツマイモなど人気の収穫体験事業を予定しております。

くにたち野菜料理講座
「ハーブ料理体験」



「春夏野菜づくり体験」



地元のおかあさんに聞こう
「青梅収穫&梅干作り体験」



平成29年度 2名の認定農業者が誕生しました

平成29年度に新たに2名の認定農業者が誕生しました。

「認定農業者制度」とは、効率的で安定した魅力ある農業経営を目指す農業者が自ら作成する農業経営改善計画を、市の基本構想に照らして認定し、その計画達成に向けて支援していくものです。認定農業者になると、国立市独自の補助事業や東京都による補助事業を受けることができます。次年度以降もさらなる拡充に向け取り組んでいきますので、本制度へのご理解ご協力をお願いいたします。



左から、佐伯昌信さん、永見理夫市長、佐伯雅宏さん、合計2名



農業者のみなさんへ



・特定生産緑地制度の施行に伴う今後の流れについて

平成29年の生産緑地法改正に伴い、平成4年の生産緑地地区指定の告示後30年が経過する平成34年以降は、「特定生産緑地」制度が施行されます。本制度施行後に、今まで同様の税制特例措置を現在の生産緑地地区上で受けるためには、新たに「特定生産緑地」への指定を受けていることが必要となります。指定までの手続きについては、詳細が決まり次第、皆様に随時お知らせしていきます。

今後の主なスケジュール案（※以下は現時点の予定です。スケジュールは変更する場合があります。）

平成30年10月	制度説明会を実施（3回実施予定）
12月～平成31年5月	市に提出した生産緑地の指定申請書の内容確認
平成31年5～6月	制度説明会を実施（平成4年に指定した方を対象。3回実施予定）
6～8月	市から制度移行確認アンケートを実施
平成32年1～2月	スケジュール・手続き説明会を実施（6回実施予定）
平成32年3月～平成33年9月	指定の募集受付（それぞれ期間を区切り、3回募集予定）

※ご不明な点等については、担当の都市整備部都市計画課都市計画係にご相談ください。

・防災協力農地協定の締結に向けた事前説明会が開催されました

このたび7月11日に、JA東京みどり国立支店内会議室において、市防災安全課とJA東京みどりの主催による防災協力農地協定の締結に向けた事前説明会が催されました。当日は、市とJAにて協定を締結していくことや、両者による協定が締結された後、協力農地の登録申請の受付に向けた手続きを進めていく方針であることが確認されました。今後、皆様に対して市防災安全課から具体的な制度の運用に関するご案内をさせて頂く予定です。ご協力頂きますようお願いいたします。

* * * * *

農業委員会では、年間を通して耕作の相談、農地の見守り、営農支援に関する活動を随時行っています。農業者のみなさま、お気軽にお声掛け下さい。

【平成30年度農業委員会の主な活動予定】

5月11日(金)	稲作体験学習会種まき	10月中旬	農地利用状況調査
5月22日頃	田んぼ取水	10月下旬	脱穀
6月22日(金)	苗取り	11月10日・11日	農業まつり
6月25日(月)	田植え	6月～11月	稲作体験学習会拡充プラン
10月4日(木)	稲刈り	3月	稲作体験学習会圃場整地